

連番	大問	中問	小問	領域及び学年	学習指導要領の内容等	出題のねらい	観点					主に「知識」に関する問題	主に「活用」に関する問題
							国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能		
①	1	(1)		話すこと・聞くこと 5・6年	イ 目的や意図に応じて、事柄が明確に伝えられるよう、話の構成を工夫すること。	話し手の話の構成の工夫を聞き取ること。		○				○	
②		(2)		話すこと・聞くこと 5・6年	エ 話し手の意図を、自分の伝えたいことと、ともに考えたいことを、聞き取りながら、木村さんの発表のテーマを聞き取ること。	話の目的や意図、自分に伝えたいこと、ともに考えたいことを、聞き取ること。		○				○	
③		(3)		話すこと・聞くこと 5・6年	エ 話し手の意図を、自分の伝えたいことと、ともに考えたいことを、聞き取りながら、聞き取ること。	話の目的や意図、自分に伝えたいこと、ともに考えたいことを、聞き取ること。		○				○	
④		(4)		話すこと・聞くこと 5・6年	ア 考えたことや伝えたいこと、日常生活の中で考えたことや特に伝えたいと思うことなどから、話題を決め、得た情報を関連付けて活用すること。	日常生活の中で考えたことや特に伝えたいと思うことなどから、話題を決め、得た情報を関連付けて活用すること。		○					○
⑤				話すこと・聞くこと 5・6年	(関心・意欲・態度)	資料を活用しながら、聞き手に伝わるように工夫して話そうとすること。	○						○
⑥	2	(1)	①	伝統的な言語文化と国語の特質 4・6年	「いさん」と読むこと	6年配当の漢字「遺」と4年配当の漢字「産」を組み合わせた熟語「遺産」を「いさん」と正しく読むこと。					○	○	
⑦			②	伝統的な言語文化と国語の特質 3・6年	「きちょう」と読むこと	6年配当の漢字「貴」と3年配当の漢字「重」を組み合わせた熟語「貴重」を「きちょう」と正しく読むこと。					○	○	
⑧			③	伝統的な言語文化と国語の特質 6年	「うつ（る）」と読むこと	6年配当の漢字「映」を「うつ（る）」と正しく読むこと。					○	○	
⑨			④	伝統的な言語文化と国語の特質 6年	「うちゅう」と読むこと	6年配当の漢字「宇」と「宙」を組み合わせた漢字「宇宙」を「うちゅう」と正しく読むこと。					○	○	
⑩			⑤	伝統的な言語文化と国語の特質 6年	「いただ（いた）」と読むこと	6年配当の漢字「頂」を「いただ（いた）」と正しく読むこと。					○	○	
⑪		(2)	①	伝統的な言語文化と国語の特質 6年	「認（める）」と書くこと	6年配当の漢字「認」を正しく書くこと。					○	○	
⑫			②	伝統的な言語文化と国語の特質 6年	「難（しい）」と書くこと	6年配当の漢字「難」を正しく書くこと。					○	○	
⑬			③	伝統的な言語文化と国語の特質 5・6年	「価値」と書くこと	5年配当の漢字「価」と6年配当の漢字「値」を組み合わせた熟語「価値」を正しく書くこと。					○	○	
⑭			④	伝統的な言語文化と国語の特質 2・6年	「専門」と書くこと	6年配当の漢字「専」と2年配当の漢字「門」を組み合わせた熟語「専門」を正しく書くこと。					○	○	
⑮			⑤	伝統的な言語文化と国語の特質 5年	「責任」と書くこと	5年配当の漢字「責」と「任」を組み合わせた熟語「責任」を正しく書くこと。					○	○	
⑯		(3)		伝統的な言語文化と国語の特質 3・4年	(1) ウー(ア)ローマ字で書くこと	拗音を含む言葉をローマ字で書くこと。					○	○	
⑰		(4)		伝統的な言語文化と国語の特質 5・6年	(1) イー(ク)日常よく使われる敬語の使い方に慣れること	「持っていく」を目上の人に対する適切な敬語に直すこと。					○	○	
⑱		(5)		伝統的な言語文化と国語の特質 3・4年	(1) アー(ア)易しい文語調の短歌や俳句について、情景を思い浮かべたりリズムを感じたりすること	短歌三十一音の七音五音を中心としたリズムから国語の美しい響きを感じ取りながら音読すること。					○	○	
											○	○	
⑲	(6)		伝統的な言語文化と国語の特質 5・6年	(1) イー(イ)時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くこと	よく使われている外来語について意味を分かったうえで使用すること。					○	○		

平成24年度評価問題「ゆうチャレンジ」(熊本県学力調査) 小学校6年 国語 出題のねらい等														No. 2	
連番	大問	中問	小問	領域及び学年	学習指導要領の内容等	出題のねらい	観点					主に「知識」に関する問題	主に「活用」に関する問題		
							国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能				
⑳	3	(1)		読むこと 5・6年	ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、要旨をとらえたり、事実と感想、意見などの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読みすること	文章の内容を的確に押さえるために、編集者の構成の仕方を理解して読むこと。				○		○			
㉑		(2)		読むこと 5・6年	ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、要旨をとらえたり、事実と感想、意見などの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読みすること	根拠となっている内容を的確に読み取り、判断すること。				○			○		
㉒				読むこと 5・6年	ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、要旨をとらえたり、事実と感想、意見などの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読みすること	理由や根拠となっている内容を的確に押さえ、ルールの内容を理解して読むこと。				○			○		
㉓		(3)		読むこと 5・6年	イ 目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること	効果的に伝えるために、文章全体を概観しながら必要なところを読み取り、活用すること。				○			○		
㉔		(4)		読むこと 5・6年	ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、要旨をとらえたり、事実と感想、意見などの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読みすること	文章の重要な点を表現に即して的確に読み取り、まとめること。				○			○		
㉕				読むこと 5・6年	(関心・意欲・態度)	読む目的を理解し、文章の内容を的確に押さえるために、文章に書かれている話題、理由や根拠となっている内容について注意して内容を読み取ろうとすること。	○							○	
㉖	4	(1)		書くこと 5・6年	イ 自分の考えを明確にするため、文章全体の構成の効果を考えること	考えが明確に伝わるように、文章の構成 {始め（意見）－中①（事実）－中②（事実）－終わり（意見）} をとらえること。				○			○		
㉗		(2)		書くこと 5・6年	カ 書いたものを発表し合い、表現の仕方に着目して助言し合うこと	文章表現のよさ（書き方の工夫）を見つけて発表し、そのよさを自分の表現の参考にすること。				○				○	
㉘				書くこと 5・6年	カ 書いたものを発表し合い、表現の仕方に着目して助言し合うこと	文章表現のよさ（効果）を見つけて発表し、そのよさを自分の表現の参考にすること。				○				○	
㉙		(3)		書くこと 5・6年	ウ 事実と感想、意見などとを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること	自分が挑戦したいことを明確に伝えるために、事実と感想、意見などを区別して書き、表現を工夫すること。				○				○	
㉚				伝統的な言語文化と国語の特質 5・6年	(1)イ～(キ) 文や文章にはいろいろな構成があることについて理解すること	文や文章の構成を理解し、表記や記述に注意して、文章を書くこと。					○	○			
㉛				書くこと 5・6年	(関心・意欲・態度)	自分が挑戦したいことについて、読み手に伝わるように書こうとすること。	○							○	